

【第13回卒業式レポート】

桜のつばみも緩み天候にめぐまれた3月19日。

玄関先の掲示板には3年生担任の学年別体育大会のポスターがお出迎えという緊張もほぐれ和やかなスタートでした。

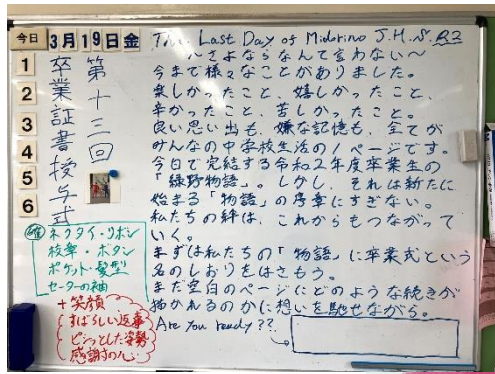


各クラスの黒板には体育祭集合写真とクラスシンボルが掲示され、全員の机には当日朝に置かれた卒業準備委員の保護者からの花束と記念品ボールペンが（DVDと卒業アルバムは後日送付いただきます）。

※画像は一部加工しています。



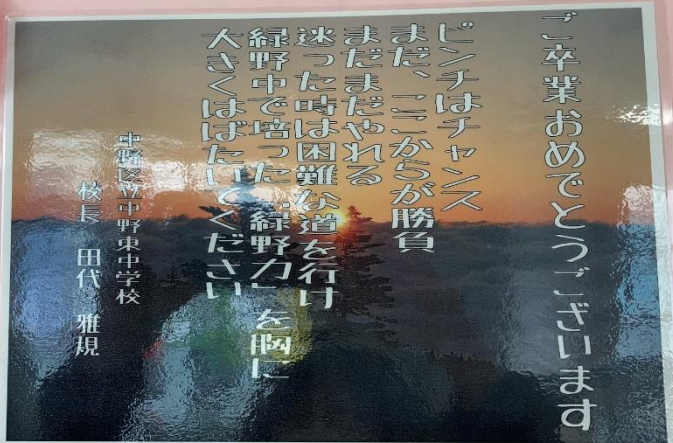




保護者受付の際には親にあてた手紙が渡され、この時点ですでに涙することも。

【受付近くにはお祝いのメッセージ】

↓1年生の時の校長先生、田代雅規先生から



1・2年生の時の副校長先生

↓佐藤康二先生から



体育館には緑野中の桜を使った生け花が3か所に飾られていました。PTA いけ花教室にて指導してくだっている先生の作品です。





コロナ渦の中でしたが、卒業式では一人ひとりの卒業証書授与は叶いました。

「卒業生門出の言葉」の時には、サプライズで、3年生の先生お一人ずつに生徒代表の6人が各々手紙を読み、お渡しをするという企画が盛り込まれ更に涙を誘うシーンも。



そして中学最後の校歌斉唱は壇上で卒業生代表の伴奏と指揮者のみで、生徒は歌うことは出来ませんでした。指揮者が構えの腕をあげた瞬間、生徒全員がいつもの歌う足幅になり、声こそはありませんでしたが、歌声が聞こえるかのような最後の校歌斉唱でした。

12時過ぎに正面玄関から担任先頭で、いよいよ門出です。吹奏楽の演奏の聞こえるグラウンドでは先生方や部活の後輩有志での花道が待っていました。各クラスの写真撮影、そして出身小学校や幼稚園ごと、部活ごとと笑顔で写真を撮り合う姿はほほえましいものでした。



コロナで奪われた行事ばかりで、1年以上親の参加もままならない日々でしたが、心暖まる卒業式と生徒一人一人の成長も目の当たりにし、改めて緑野中学校の先生方が3年間本当に子供たちを愛し育ててくださったのだと、感謝の思いで胸いっぱいの日でした。

以上

